

東日本大震災で被災した防波堤復旧工事の状況を公開

～ 仙台塩釜港仙台港区C防波堤災害復旧工事 ～

東日本大震災により被災した仙台塩釜港仙台港区のC防波堤の復旧のため
塩釜港区西ふ頭で製作した巨大なケーソン*を仙台港まで運搬して据付けます。
据付作業の状況を報道関係者に公開します。

※防波堤本体となる鉄筋コンクリート製の箱のこと。
5月30日に製作状況を一般公開しました。

1. 報道関係者にケーソン据付作業を公開します

日時：平成24年7月7日（土）8時30分～（3時間程度）

注）天気が良い場合であっても、荒候やうねりの発生が予想される場合は
作業を延期します。延期の場合には、前日にお知らせ致します。

集合場所：仙台塩釜港 仙台港区中野地区 高松船溜まり

注意事項：交通船に乗船して頂き、既設防波堤上に案内致します。

安全対策としてライフジャケットおよびヘルメットを着用して頂きます。

※ライフジャケットは当方で準備しますが、ヘルメットはご持参下さい。

（ヘルメットは、当方でも若干数を準備致します）

2. 取材申し込み

取材希望の方はE-mail又はFAX（別添様式）により、所属、氏名、連絡先を添えて、
7月5日（木）15時までに申し込み下さい。

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、塩竈記者クラブ】

【申し込み・問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所

企画調整課 渡部（わたなべ）、山谷（やまや）

TEL 022（362）9512 FAX 022（361）3255

E-mail：info-shiogama@pa.thr.mlit.go.jp

防波堤災害復旧工事の状況を公開(7/7予定)

別紙

・仙台港区 集合場所および取材場所



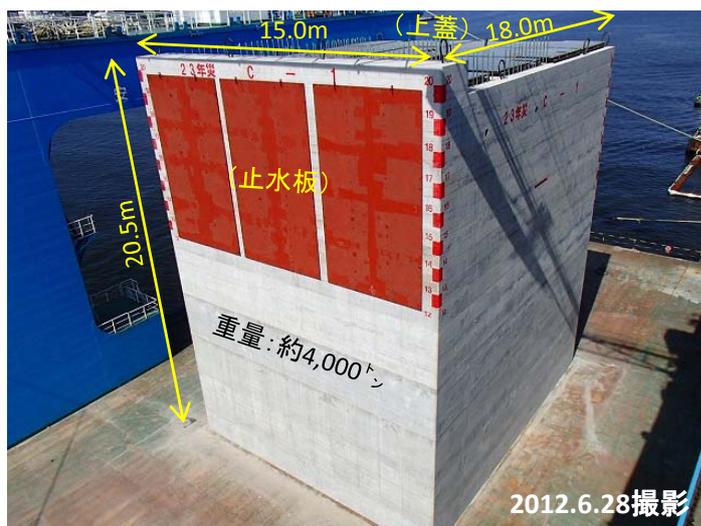
・工事の概要

- ・東日本大震災(3.11)および最大余震(4.7)により仙台港区のC防波堤の先端部が大きく傾きました。
- ・防波堤を作り直して灯台を設置するために、塩釜港区西ふ頭において防波堤の本体となるケーソン(鉄筋コンクリート製の箱)の製作し、過日、完成しました。
- ・ケーソンは、製作用台船(フローティングドック:FD)に乗せたまま、仙台港沖まで曳航し進水させます。
- ・海上に浮いたケーソンをC防波堤据付予定地まで、曳航し、据付けるための準備を行います。
- ・所定の位置にセットされたケーソンに、ポンプで海水を注入して据付けます。
- ・ケーソンのマスの中に砂を投入して、安定性を増加させます。

・C防波堤の被災状況(堤頭函・白灯台が傾斜)



・完成したケーソン(塩釜港区西ふ頭、FD上)



ケーソン据付工程計画

工種・名称	作業内容 使用船舶等	作業場所等	7月6日(金)	7月7日(土)						7月8日(日)
				4	8	12	16	20	24	
FD(ケーソン)曳航	曳航(約18km)	塩釜港区→仙台港区沖	■							
ケーソン進水・引出し	FD注水	仙台港区沖		■						
ケーソン据付準備	ケーソン曳航、ワイヤリング等	仙台港区沖→C防波堤			■					
ケーソン据付(注水)	水中ポンプ	仙台港区C防波堤				■				
中詰砂投入・均し	ガット船	〃						■		
根固ブロック据付	起重機船、潜水士船	〃								■

報告公開 8:30~11:30(予定)
1隻目(全3隻)

【取材の留意事項】

- ①報道公開は既設防波堤および交通船の上から、赤字標記の作業を取材して頂きます。
- ②上記以外に取材の希望がある場合は、申し込み時にお知らせいただければ対応致します。
- ③取材場所(海上)と陸との移動は、取材者の要請により、適宜、交通船を運行致します。

